

問題2 古生物学・古環境学 (100点)

以下の問い (問1, 問2) に答えよ。

問1 次の文章を読み, 設問 (1) ~ (3) に答えよ。

(a) カンブリア紀以降, 特に大規模な5回の大量絶滅イベントが識別される。とりわけペルム紀末に起きた大量絶滅 (P/T 境界事変) は最大規模であった。しかし化石記録をみると, 古生代に繁栄したグループの中で P/T 境界を生き延びたものも少なくない。そして (b) P/T 境界を生き延びたにもかかわらず, 三畳紀末に絶滅したケースが目立つ。そのため, 三畳紀末の大量絶滅 (T/J 境界事変) が新たに注目を集めている。

- (1) 下線部 (a) に関連して, ペルム紀末と三畳紀末を除く他の3回の大規模な大量絶滅が起きた地質時代を答えよ。
- (2) 下線部 (b) に当てはまる生物の化石はどれか。下のスケッチの中からひとつを選び, 図の番号1~4の数字で答えよ。さらに, その化石生物の名称を答え, その地質学的または古生物学的な意義を簡潔に説明せよ。

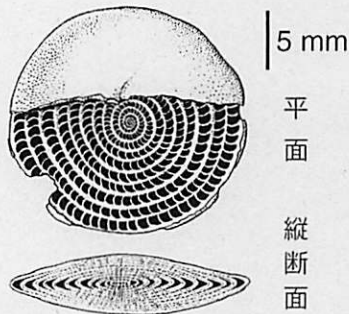


図1

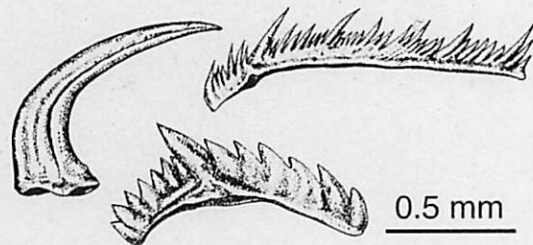


図2

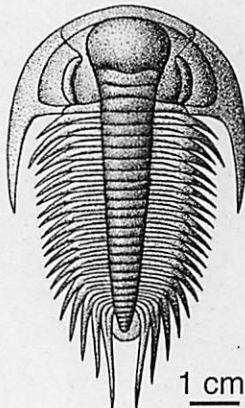


図3

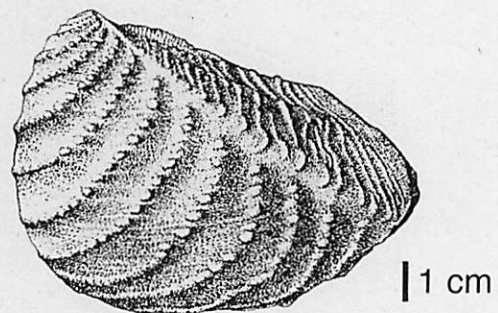


図4

<出典> 1, 3, 4: British Museum (Natural History) (1975); 2: 猪郷久義 (1975)

(次ページに続く)